

事務事業名	ごみ収集・運搬事業				担当	産業環境部 環境課 清掃係		
政策名	D 自然と潤いがある安全快適なまちづくり				電話番号	0285-83-8126		
施策名	3 廃棄物の抑制と適切な処理				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和31 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	2. 清掃費	2. 塵芥処理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般家庭から排出される廃棄物を真岡市の分別区分により、一般ごみステーションと資源ステーションに出されたごみを収集し清掃センターに運搬する。また、市では、市民からの分別等の問い合わせに応じている。 ・種類...もえるごみ、その他（粗大ごみ含む）、資源（1）・（2） 真岡地区は、資源（1）のペットボトルをシルバー人材センターに委託し、資源（2）は真岡市資源回収事業協同組合が回収している。 （真岡市資源回収事業協同組合へは、負担金で支出し別事務事業に記載） 二宮地区は、委託業者が、3種類の全てを収集運搬している。 もえるごみについては、年々減少しているが、東日本大震災の影響で、粗大ごみが増加したことによりごみ排出総量が一時増えたが、現在は減少している。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 ・市内1,710ヶ所の一般ごみステーションと312ヶ所の資源ステーションに、市民が排出した一般ごみと資源を、委託業者が収集し清掃センターに運搬する。市は、これらの収集・運搬に対し委託料を支払う。 25年度計画 ・前年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	委託料	千円	176,413	177,733	175,704	172,204	163,227
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・市民、ごみ、ステーション ・ごみ収集委託業者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	ごみ収集委託業者数	社	5	5	5	5	5
	イ	ごみ排出総量	t	24,913	24,493	24,815	24,199	23,950
	ウ	人口	人	82,997	82,584	82,126	81,511	80,929
エ	一般ごみステーション数	箇所	1,674	1,679	1,698	1,710	1,722	
オ	資源ステーション数	箇所	319	315	312	312	315	
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・ステーションに出されたごみを、適正に収集運搬する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	1人1日当たりのごみ排出量	g	826	817	834	819	811
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・廃棄物の適正な収集運搬と処理	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
	ア	ごみ収集が良いと感じている市民の割合	%	80.8	86.7	80.3	81.8	83.4
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	176,413	177,733	175,704	172,204	0	
	事業費計(A)	千円	176,413	177,733	175,704	172,204	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	0
		延べ業務時間	時間	720	720	720	720	0
		人件費計(B)	千円	2,920	3,073	3,054	3,025	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	179,333	180,806	178,758	175,229	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・真岡地区は、ごみ収集運搬業務を、昭和58年度に一部委託を開始し、昭和62年度から民間に全面委託した。 また、ペットボトル収集運搬は、平成7年10月から始まり平成14年度にシルバー人材センターに委託し、資源（2）は、平成7年10月から、真岡市資源回収事業協同組合が行う回収事業に対し負担金を交付した。 なお、二宮地区は、平成3年度に一部委託を開始し、平成7年度から民間に全面委託した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・平成9年4月に容器リサイクル法が施行され、事業者や自治体に分別収集及び適正処理が義務付けられた。 ・ダイオキシン類の排出基準の強化等により、自家焼却が原則禁止され、ごみ（特にもえるごみ）の排出量が増加した。 ・各種リサイクル法の制定等により、3R運動を通じ、循環型社会へ市民意識も高まっている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・廃棄物の適正処理を行うためのごみ収集運搬であるので、市の政策に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき執行しているため、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・地域からの申請に基づくステーションに排出されたごみのため、適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・全ステーションを対象にしているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・ごみの適正な処理が出来ず、生活環境に悪影響を及ぼすので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の事業費のため、削減余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・必要最小限の経費のため、削減余地がない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・受益者負担金がない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							